

## 2024 口語詩句奨学生 選評 龍 秀美

2024 年度の奨学生 16 名のうちに、昨 23 年度の奨学生の名を 8 名数えました。つまり、多くの人が高いレベルを保ちつつ投稿を続けていたということで、その素晴らしい努力に敬意を表します。

それだけに競争は熾烈で、限られた枠のなかで、非常に優れているにもかかわらず選外にしなければならないという場合もあり、痛みをおぼえつつの選考作業でした。

以下に、わたくしが推薦した作者の作風を一言で表す試みをしました。

### 松下 誠一（筆名・松下 誠一）

<距離：言葉と自分の在り方との絶妙な距離・間合い。独自のスタイルができつつある>  
自治会の会長による獅子舞を  
見るという時間の使い方

### 小笠原 風花（あお）

<痛み：生きることに含まれる痛みを迎え入れてうたう>  
間違っただ話を訂正せずにいる  
着衣水泳みたいな生き方

### 奥村 俊哉（長谷川 柊香）

<動作：身体の動きによって生まれる新しい認識>  
手の影を生む葉を抜くために

### 佐久本 倫歌（雲理そら）

<語り：アイデンティティが生まれる物語>  
天国じゃみんな、名前を忘れてて  
さいごのごはんの献立で呼ぶ

### 塩田 きよら（汐見りら）

<時間：錯綜する時間の想像力>  
何度目の春風を咬む  
鮫の歯のように職員室は変わって

### 大嶋 碧月（大嶋 碧月）

<生理：生物と共通する、自分の身体感覚をうたう>

ひにん。  
って、赤えびみたい  
生きたくて、  
急に浅瀬を後ろ跳びする

#### **金光舞**（金光舞）

<ふるまい：観察によって人、自分、周りの生物のふるまいを知覚する>  
母さんは、可愛かったら見る  
僕を。

#### **清水将也**（源楓香）

<時代：さまざまな価値観が入り乱れる状況を描く>  
僕たちの時価総額が落ちていく  
優しい先輩ばかりの国で

#### **杉原健吾**（Flim）

<語感：新鮮なオノマトペが歌をリードする>  
ぼーんぶゆ  
めってめけいてめけもれば  
うたは  
あなたによまれているよ

#### **小宮颯人**（小宮颯人）

<現象：衰退する日本社会の引き算的発想>  
どちらでもないの  
いじめはありません

#### **渡邊美愛**（さいう）

<日常：日常の中にこそ潜む確かな愛>  
じだんだを  
すすきのように受け流す  
母の ほっきょくぐまのまなざし